

2004年度東北大学法科大学院入学試験問題

試験科目名：民法（50分）

AとBは、二〇〇三年一月に、A名義の所有権登記のある土地（以下「本件土地」という）を代金五〇〇〇万円で売買する旨の契約を締結し、ただちに、AからBへの所有権移転登記がなされ代金全額がBからAに支払われた。

以上の事実関係を前提として、以下の小問に答えなさい（各小問は相互に独立の問題である）。時効は考慮に入れないものとする。

小問（1）

二〇〇三年九月に、本件土地の所有者であったCは、Aにだまされて本件土地を売却する契約を締結し、CからAに所有権登記を移転した。

本件土地の所有権に関する、BとCとの法律関係を説明しなさい。

小問（2）

二〇〇三年九月に、本件土地の所有者であったCは、財産を隠す目的で、Aと相談したうえで、本件土地をAに売却したかのように偽装し、CからAに所有権登記を移転した。

本件土地の所有権に関する、BとCとの法律関係を説明しなさい。

小問（3）

Aは、二〇〇三年一月に、Dとの間で、本件土地を四〇〇〇万円で売る旨の売買契約を締結していた。Dは、ただちに、代金を支払い、本件土地の引渡を受け、本件土地を柵で囲って、柵に、「Dが二〇〇三年一月にAからこの土地を購入したのでこの土地の所有者はDである」という趣旨を大書した看板を掲示した。その看板は現在（二〇〇四年一月）までそのまま残っている。

本件土地の所有権に関する、BとDとの法律関係を説明しなさい。

以上

